



さとう・えいいち

昭和36年生まれ、明治大学法学部法律学科卒業。昭和61年3月から平成16年11月まで、市議選出馬（株）代表取締役。平成9年、(社)宇都宮商工会議所理事長就任。平成12年、(社)日本青年会議所副会頭就任。平成14年、(社)宇都宮商工会議所青年部会代表として務める。平成16年11月28日から宇都宮市長（二期目）。

未曾有の大災害から10ヵ月。新しい年を迎え、復旧から復興へ・復興から発展へと、宇都宮市も階段を登って行かなくてはなりません。そのためにはどうしたらいいか、どんな地域社会を目指すのか、佐藤栄一・宇都宮市長と北村光弘・宇都宮商工会議所会頭に、さまざまな角度からお話しいただきました。

激動の平成23年
北村 明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。昨年は東日本大震災をはじめ、激動の年だったと思います。佐藤 明けましておめでとうございます。こちらこそ、よろしくお祈りします。
東日本大震災では、宇都宮市も一部損壊を含めて約1万7000棟の住宅被害がありました。公共施設もずいぶん被害を受けました。
市では被災地から避難された方々を受け入れたり、市内で被害に遭われた方々のお見舞金・融資補助を行うなどして、皆さまのご支援に努力してまいりました。
放射能問題への対応にも努力しました。現在では幼稚園・保育園・小中学校・公園などで測定をしています。また給食食材の放射性物質検査も行っています。
北村 風評被害の問題も、大きかったですね。佐藤 栃木県の農産物も、販売が落ち込

◎特集
新春対談
東日本大震災、経済の混乱…大変革期を乗り切るために
新たな希望と発展を、新時代の宇都宮づくり
宇都宮市長
宇都宮商工会議所会頭

佐藤栄一 × 北村光弘

みました。その回復に向けて、今年も努力していくつもりです。「栃木の、宇都宮の農産物は安全・安心だ」と消費者の皆さまに納得していただけるよう、さまざまな施策を行っていきます。

また、被害を受けられた企業も多いです。本年は災害復興に向けた融資も、なお一層充実させ、対応をしていきたいと考えています。

大きな打撃を受けた経済

北村 震災に関しては、計画停電や夏の節電などが、企業にとっては対応がたいへんでした。製造業はもちろん、流通業にとっても大打撃だったと感じています。

小売業では、バーコードやPOSレジが普及していますから、停電になると物が売れません。卸売業などもIT化が進んでいるために、停電になると止まってしまうですね。

佐藤 宇都宮市としてもサマタイム導入や照明の間引きなどで節電の努力を重ね、結果として目標20%が29・9%まで削減できました。節電の取り組みは今年も引き続き行っていくつもりです。

北村 栃木県は観光県でもありますから、3月・4月の飲食業の自粛ムードは、本当に痛手だったと思います。それを何とかしようと、市長さんをはじめ多くの方が動いてくださったことには、本当に感謝していま

す。特に、「宇都宮の蔵元も被害が大きいのではないかと、支援しなくては」というお話をいただき、6月から「宇都宮地酒応援キャンペーン」をスタートできたことは、大変感謝しています（12月末まで実施）。

イベントだけに頼らないまちづくり

北村 こうした大災害の一方で、明るい話題もある1年であったと思います。

夏に行った通行量調査の結果を見ますと、平日・休日とも通行量が増加しています。再開発事業の影響も大きいのではないのでしょうか。今後さらなる中心市街地の再開発計画も出ていますので、順調に進んで

行けば、街も活性化して行くと思います。佐藤 再開発やイベントなどが通行量改善に役立つと思います。交流人口を増やすとともに、イベントに頼らないまちづくりの（仕掛け）が必要だと思っています。例えば郊外の大規模ショッピングモールに、従来の商店街が対抗しようとしても、難しいですね。ですから、全く異なる街を作っていく方が、いいと思います。

大通り、ユニオン通り、オリオン通り、日野町通りなど、中心商店街全体を回遊性のあるショッピングモールに見立てることも、一つのアイデアではないでしょうか。いま挙げた4つの通りの床面積が、実はインターパークにある店舗の床面積と、ほぼ同じなのです。ですから、やり方によっては、すばらしい街を作ることができるんですよ。郊外のショッピングモールとは全く違うまちづくりをして行く——そういう意気込みで再開発等も進めて行くと、効果があるのではないのでしょうか。

ただしそれには、地元の方々の協力が不可欠です。皆さんに足並みをそろえていただくかなと。

また、昨年はオリオン通りで「歩行者と自転車共存できるまちづくり」についての社会実験を行いました。この結果を、まちづくりに取り入れたいと考えています。



きたむら・みつひろ

昭和17年生まれ。慶応義塾大学法学部法律学科卒業後、(株)横倉本店に入社。平成12年から同社代表取締役会長を務める。平成19年から宇都宮商工会議所副会頭を務め、平成22年11月に第18代会頭に就任。ほか公正取引委員会独占禁止政策協力委員、宇都宮卸商連地(協)副理事長など多数務める。





10月に開催された「クリテリウム」は、今年も興奮と感動をもたらしました

北村 地元商店街の調整については、商工会議所としても今まで以上に積極的に、行っていきたいと考えています。いちばん大変な問題ですからね。

佐藤 そうですね。これまでもご苦労をさされて来られたかと思えます。

北村 本音で話し合い、互いによりよい方向で、街の活性化につなげたいですね。

また、宇都宮の知名度アップにはテレビや新聞などのマスコミも重要な要素ですから、市の観光交流課でも働きかけをしていただければありがたいです。オリオン通りの実験についても、テレビで報道されるとすぐ、知人からメールが来ました。短いニュースであっても、効果はあるものですね。

「クリテリウム」ジャパンカップ 経済効果は約20億円

佐藤 一昨年に引き続き、昨年も中心市街地でクリテリウムが行われました。

も、大きな課題でしょう。

北村 そうですね。特に後継者問題は、雇用の安定にとっても大きな役割を持っています。企業だけでなく農業も同様です。現在の後継者不足は、日本経済にとっても地域経済にとっても憂慮すべき事です。商工会議所では以前から、雇用や後継者問題に力を入れてきましたが、昨年来の社会経済の激変、アジア地域経済の状況などを総合的に考えながら、今年はずらに積極的に取り組んで行きたいと考えています。

宇都宮の「良さ」を全国へ

北村 商工会議所の今年の重点事業として、

- ◎ 経営診断、金融支援の強化
- ◎ 新規開業者支援
- ◎ 個店の魅力アップ支援で、商店街全体の活性化へ



市長も首領をとった。宇都宮の地酒を応援するキャンペーンが行われました

アジアで最高位の自転車レース「ジャパンカップ」は、世界的にも注目されている大会なのですが、肝心の私たち宇都宮市民が、そのすごさをきちんと認識していない部分があります。これを宇都宮のブランド戦略に、ぜひ活用したいと考え、数年前からさまざまなプランを立ててきていました。中心市街地を舞台にレースを行う「クリテリウム」を開催することで、まず市民に「ジャパンカップ」のすごさを体感していただきたと考えています。

佐藤 運営には市民ボランティアの方々、多数お手伝いいただいております。そういう意味で、官民の協働であり、決してただのイベントではないと言っていいたいです。こういうあり方が重要だと思えます。今後も継続していきたいと思えます。

企業が安定した継続雇用ができる街に

北村 「クリテリウム」や通行量増加など、明るい話題も目立った昨年でしたが、経済全般を見ると今年も厳しい環境が続きます。ただ、その中でもそれに対応しうる、新しい国の形を作っていくかなくてはならない



宇都宮のマスコット、ミヤリーとハッピー(ミヤリーの腕の中に入ります)。本誌27ページに、ミヤリー情報が掲載されています



また、宇都宮の学校教育が充実して行くことが、人口増加にも大切な役割を果たすと思います。北村 将来に向けて人口を増やすのは、なかなか難しいと思います。その中で、例えば大都市の方々が宇都宮に移住されるような魅力づくりが、今後重要だと思えます。その点についても行政の役割は大きいですから、ぜひお願いします。また、例えば20年後の人口構成などは、ある程度予測できると思います。ですから将来に向けた投資も、財政のバランスを見ながら、ぜひ力を注いでいただきたいと期待しています。佐藤 企業にとっては、雇用や後継者問題

- ◎ 地域産業活性化
- ◎ 産学官連携の一層の強化
- ◎ 中心市街地活性化支援
- ◎ 宮カフェと周辺商店街の共同イベント開催

- ◎ 災害からの復興
- ◎ 震災からの元氣再生
- ◎ 震災からの元氣再生
- ◎ 持続可能なまちを支える基盤づくり
- ◎ 子育て支援の充実
- ◎ 市民サービス向上

佐藤 宇都宮市の重点事業として考えているのは、

高齡化社会に対応した持続可能な街の実現のために、宇都宮市では「ネットワーク型コンパクトシティ」の実現をめざしています。地域社会をコンパクトシティと捉え、そのエリア内に日常必要な店舗や公共施設をすべて整備し、公共交通も整えれば、足腰の弱った方でも不便無く暮らしていけます。こうしたエリア同士を、バスや鉄道



宇都宮商工会議所青年部が昨年創設した「うつのみや親善大使」。どこでも大人気です。左から小川さん、寺内さん、若瀬さん